

減圧蒸留装置

< 原理説明 >

通常蒸留するときは水であれば大気圧下で 100°C で沸騰させて蒸気を冷却し、蒸留液として回収しそれ以外の物質と分離

減圧蒸留では、真空ポンプで減圧することにより 100°C 以下で沸騰させ加熱エネルギーを節約

図-2のように今回の装置で右側の原液を加熱し、真空ポンプで減圧することにより 100°C より低温(70°C)で沸騰させ冷却水で冷却し蒸留液を取り出す



図-1 減圧蒸留装置イメージ写真

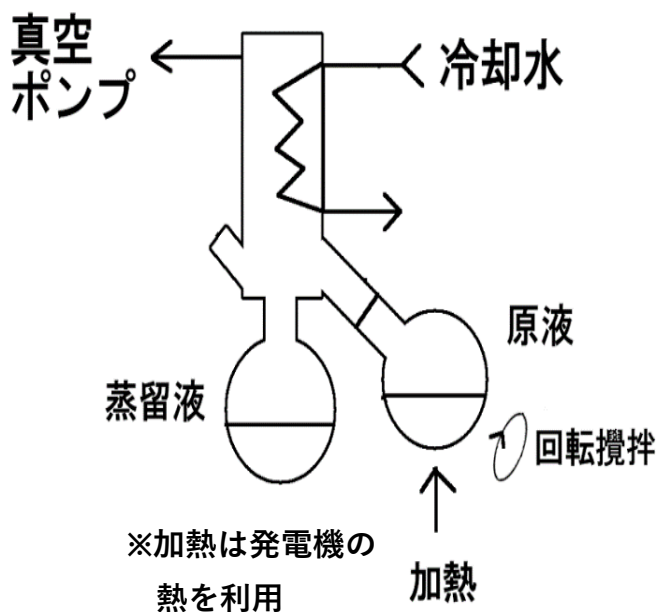


図-2 減圧蒸留装置イメージ図